

## 国内電信級陸上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 30分

### 法 規

〔1〕 再免許を受けた固定局の免許の有効期間は何年か。  
次のうちから選べ。

- 1 3年
- 2 4年
- 3 5年
- 4 10年

〔4〕 無線局の臨時検査(電波法第73条第5項の検査)において検査されることがあるものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線従事者の勤務状況
- 2 無線従事者の業務経歴
- 3 無線従事者の知識及び技能
- 4 無線従事者の資格及び員数

〔2〕 無線従事者は、免許証を失ったためにその再交付を受けた後、失った免許証を発見したときはどうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 発見した日から10日以内に再交付を受けた免許証を総務大臣に返納する。
- 2 発見した日から10日以内にその旨を総務大臣に届け出る。
- 3 発見した日から10日以内に発見した免許証を総務大臣に返納する。
- 4 速やかに、発見した免許証を廃棄する。

〔5〕 無線局の免許がその効力を失ったときは、免許人であった者は、その免許状をどうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 1箇月以内に総務大臣に返納する。
- 2 適当な時期に総務大臣に返納する。
- 3 直ちに廃棄する。
- 4 2年間保管する。

〔3〕 無線局の免許人が電波法又は電波法に基づく命令に違反したときに総務大臣が行うことができる処分はどれか。次のうちから選べ。

- 1 通信事項の制限
- 2 無線局の運用の停止
- 3 電波の型式の制限
- 4 再免許の拒否

〔6〕 無線局の免許人は、無線従事者を選任し、又は解任したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 1箇月以内にその旨を総務大臣に報告する。
- 2 速やかに、総務大臣の承認を受ける。
- 3 2週間以内にその旨を総務大臣に届け出る。
- 4 遅滞なく、その旨を総務大臣に届け出る。

# 国内電信級陸上特殊無線技士試験問題

## 法 規

〔7〕 次の記述は、秘密の保護について述べたものである。電波法の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、 を傍受してその存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない。

- 1 特定の相手方に対して行われる暗語による無線通信
- 2 総務省令で定める周波数を使用して行われる無線通信
- 3 総務省令で定める周波数を使用して行われる暗語による無線通信
- 4 特定の相手方に対して行われる無線通信

〔8〕 モールス無線通信において、相手局に対し通報の反復を求めようとするときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 反復する箇所を繰り返し送信する。
- 2 反復する箇所の次に「RPT」を送信する。
- 3 「RPT」を送信する。
- 4 「RPT」の次に反復する箇所を示す。

〔9〕 非常の場合の無線通信において、モールス無線通信により連絡を設定するための呼出しは、どのように行うか。次のうちから選べ。

- 1 呼出事項の次に「OSO」3回を送信する。
- 2 呼出事項の次に「OSO」2回を送信する。
- 3 呼出事項に「OSO」3回を前置する。
- 4 呼出事項に「OSO」1回を前置する。

〔10〕 和文のモールス無線通信において、「ラタ」を使用するのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 通報のないことを通知しようとするとき。
- 2 周波数の変更を完了したとき。
- 3 通報の送信が終わるとき。
- 4 通信が終了したとき。

〔11〕 一般通信方法における無線通信の原則として無線局運用規則に定める事項に該当するものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線通信における通報の送信は、試験電波を発射した後でなければ行ってはならない。
- 2 無線通信は、正確に行うものとし、通信上の誤りを知ったときは、直ちに訂正しなければならない。
- 3 無線通信を行う場合においては、略符号以外の用語を使用してはならない。
- 4 無線通信は、長時間継続して行ってはならない。

〔12〕 無線局は、自局の呼出しが他の既に行われている通信に混信を与える旨の通知を受けたときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 直ちにその呼出しを中止する。
- 2 中止の要求があるまで呼出しを反復する。
- 3 空中線電力をなるべく小さくして注意しながら呼出しを行う。
- 4 混信の度合いが強いつきに限り、直ちにその呼出しを中止する。